

○第2回会議報告について

概要 令和2年度比企地区連合社会教育研究集会が今年11月26日(木)にときがわ町を会場として実施されることが決定しているため、その内容等についてご意見、ご協議いただきたい。事務局案として社会教育関係のテーマで講演会、その後意見交換会等を実施してはどうか。

意見等・講演会形式でも良いのではないか。事例発表が比企郡市の各市町村で一巡したため新しい形を考えてもいいのでは。

・市町村で課題等になっていることを話し合う形が良いのではと提案していたが、事務局案を聞きそのテーマ(社会教育と障害)も良いと思った。

・以前カレンダーを作成していたことがあったが、(社会教育委員を中心に)それは何故やめてしまったのか。

→(事務局)合併後10年が経ち、旧2村の良いところは知ってもらえたのではないかと判断があり、財政的な問題もあったのではないかとと思う。その後、実施について検討され、観光協会に引き継いでもらっている。

・公民館の利用者を取材して、活動に対する思いを語ってもらってはどうか。

・青年世代の人々をどうやって集めるかに課題があると思う。以前は青年団や青少年相談員のような組織が活発な活動をしていた。

→(事務局・教育長)県内の大学生が若い視点でときがわ町に若い人達が集まらない理由、魅力の再発見について提案したものを聞きたい。課題は多そうである。どうしたら若い人を集められるのか、個人的な小さい集団(若い母親等の集まりなど)はあるようだが組織立ったものがない。伝統芸能なども継承していく子供達(若者)がいなくなっている。ただ、芸能でも工芸などでも一度辞めてしまうと復活するのは難しい。中学校の総合的な学習の時間等を利用し、お祭りの伝統地域や家にこだわることなく、その担い手を育成できないかと考えている。この先何年後かを目指して、今種を蒔かないと消えてしまう、維持できないのは寂しい。

(資料2)

1) 令和2年度比企地区社会教育委員研究集会の実施について

第2回理事・幹事会の協議で出た意見は以下の通り。

- I 他市町村の取組みを知る大変良い機会なので、準備が大変だからという理由で、事例発表をやめるのは良くない。
- II 社会教育について学び、各市町村の取組みを振り返る機会とするため、社会教育の専門家による研修を行うのは良い案と思う。
- III グループ協議で他の市町村の委員の話聞くことは、なくしたくない。
- IV これから先、ずっと講演会形式でやる、というのではなく2～3年は研修の期間とする、くらいの意識で良いのではないか。

2) 意見を踏まえた実施案

○研究集会の担当市町村が実施内容を決定してはどうか。

- ・事例発表または講師による講義を基本とし、それ以外にやりたい内容があれば実施して良い。
- ・いずれの内容でも、意見交換を行うグループ討議やグループワークは実施すること(ただし、方法は自由)。
- ・講演会総会の講演会は講師の分野や講演のテーマを問わないが、研究集会の講師と講義のテーマは社会教育の専門的内容とすること。
- ・基本的に、研究集会の流れや段取りは担当市町村が決定し、必要な資料等の準備を行うこと。

3) 実施案に伴う担当市町村のローテーションは事例発表の順

R2(ときがわ町)→R3(川島町)→R4(小川町)→R5(嵐山町)→R6(鳩山町)→
R7(東松山市)→R8(滑川町)→R9(吉見町)→R10(東秩父村)

4) 事務局(ときがわ町)案として

- ・令和2年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されることを鑑み、「社会教育と障害」をテーマに実施してはどうか?
- ・講演会を実施し、その後研究協議として、社会教育(生涯学習、社会体育、社会教育施設等)と障害について、さらにテーマを細かく絞り、意見交換や話し合いの場を持つなど。

講師：北京パラリンピックメダリスト 石井雅史氏

嵐山町立幼稚園長 田中恵子氏等

(2) 令和2年度事業計画(案)及び予算(案)等について

①事業計画(案)について

令和2年度 比企地区連合社会教育委員会事業計画(案) R2. 2. 14時点

月日(曜)	時間	事業名	会場	内容
社会教育委員会議等				
4. 6(月)	16:00	監査会	川島町教育委員会 生涯学習課	令和元年度会計監査
5. 7(木)	14:00	第1回理事・幹事会	松山市民活動センター 大会議室	令和2年度総会議案審議
5. 22(金)	13:30	令和2年度総会・講演会	松山市民活動センター 大会議室	令和元年度事業報告・決算報告 令和2年度事業計画・予算審議
5月末 予定	13:30	県市町村社会教育委員連絡協議会 総会	国立女性教育会館(嵐 山町)	令和2年度総会・研修会
7月末 予定	13:00	西部地区人権教育実践報告会	未定	人権作文発表、実践発表等
10. 15(木)	14:00	第2回理事・幹事会	東松山市総合会館総合 会館 201会議室	比企地区連合社会教育委員研究集会につ いて
11. 11(木)~ 13(金)	13:00 9:30	関東甲信越静社会教育研究大会 分科会	新潟県	記念講演、シンポジウム、 分科会等
11. 26(木)	13:00	比企地区連合社会教育委員研究集 会	ときがわ町 玉川公民館等	研修会、グループ協議
2. 24(水)	14:00	第3回理事・幹事会	東松山地方庁舎 会議室B	令和元年度事業報告・決算 令和2年度事業計画・予算
社会教育担当者研修会等				
4. 15(水)	15:00	第1回社会教育担当者研修会	東松山市総合会館 304会議室	組織編制、研修計画 (社会教育・人権教育合同会議)
5. 22(金)	9:30	第2回社会教育担当者研修会 (総会時)	松山市民活動センター 研修室	組織編制、年間事業計画等、 総会準備
6. 12(金)	14:00	第3回社会教育担当者研修会	川島町コミュニティセ ンター 会議室3	「比企地区社会教育行政の概要」作成 研究集会等
9. 18(金)	14:00	第4回社会教育担当者研修会	ときがわ町 玉川公民館2階講義室	広報編集の計画 関東甲信越静社会教育研究大会等
11. 26(木)	9:30	第5回社会教育担当者研修会	ときがわ町 玉川公民館	比企地区社会教育委員研究集会の準備
2. 17(水)	15:00	第6回社会教育担当者研修会	嵐山町ふれあい交流セン ター206会議室	令和元年度のまとめと反省 令和2年度の事業計画等
3. 1(月)	-	「比企社会教育」第47号発行		比企地区連合社会教育委員会広報紙
県生涯学習文化財課関連事業等				
10. 18(日)	-	埼玉県芸術文化祭2020 地域文化事業	ときがわ町たまがわ トレーニングセンター	ときがわ もみじ太鼓まつり 〔ときがわ町〕
11. 21(土)	-	埼玉県芸術文化祭2020 地域文化事業	吉見町民会館 (フレサよしみ)	ミュージック&フラワーフェスタ 〔吉見町〕

②予算書(案)について

令和2年度 比企地区連合社会教育委員会 予算書(案)

歳入の部

△印はマイナス (単位:円)

款 項	目	節	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	付 記
1 会 費			330,000	330,000	0	
	1 会 費	1 会 費	330,000	330,000	0	市町村負担金
2 補助金			32,200	32,200	0	
	1 補 助 金	1 補 助 金	22,200	22,200	0	県社教委連より補助金
		2 研修会等補助金	10,000	10,000	0	県社教委連より研修会補助金
3 繰越金			78,032	108,559	△ 30,527	
	1 繰 越 金	1 繰 越 金	78,032	108,559	△ 30,527	前年度繰越金
4 雑収入			768	241	527	
	1 雑 収 入	1 雑 収 入	768	241	527	預金利子等
歳 入 合 計			441,000	471,000	△ 30,000	

歳出の部

款 項	目	節	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	付 記
1 会議費			77,000	77,000	0	
	1 会 議 費		77,000	77,000	0	
		1 総 会 費	65,000	65,000	0	総会諸費用
		2 役員会費	12,000	12,000	0	監査手当、理事・幹事会費
2 事務費			29,000	29,000	0	
	1 旅 費	1 旅 費	20,000	20,000	0	役員旅費等補助
	2 需 用 費		9,000	9,000	0	
		1 消 耗 品 費	7,000	7,000	0	事務用品費
		2 通 信 費	2,000	2,000	0	郵券代・振込手数料
3 事業費			264,000	294,000	△ 30,000	
	1 委員研修費	1 委員研修費	191,000	231,000	△ 40,000	関プロ参加費(兼研究集会費)
	2 担当研修費	1 担当研修費	7,000	7,000	0	担当者会研修費
	3 調査研究費	1 調査研究費	1,000	1,000	0	社会教育の概要作成費
	4 広報発行費	1 広報発行費	65,000	55,000	10,000	広報「比企社会教育」発行費
4 負担金			61,000	61,000	0	
	1 負 担 金	1 負 担 金	61,000	61,000	0	県社教委連負担金
5 予備費			10,000	10,000	0	
	1 予 備 費	1 予 備 費	10,000	10,000	0	
歳 出 合 計			441,000	471,000	△ 30,000	

研究会の関プロ比
調査

歳入総額 441,000 円

歳出総額 441,000 円

差引残額 0 円

令和2年 月 日

比企地区連合社会教育委員長 谷 野 裕 子